



地域を見つめる経済情報誌

長野しんきん 北信地区経済動向

2017
平成29年
7-20
No.539

「すかい」(sky: 空)は、北信地区経済の空模様を展望しながら、経済面からとらえた身近な情報をおとどけします。

景況調査レポート



姨捨駅
豪華寝台列車
四季島

JR東日本の豪華寝台列車「トランスイート四季島」は10両編成で定員は全部で34名。姨捨駅に停車すると1か所のための乗降口(大型エントランスドア)前のホームには、エンブレム入りの赤いカーペットが敷かれます。「日本三大車窓」の駅に降り立った乗客は、特設の専用ラウンジ「更級の月」で、善光寺平の夜景を眺めながら信州の地酒や料理を堪能していました。

- 長野しんきん 景況調査レポート 2
- 企業アンケート「人材確保」① 6
- 生活者アンケート「日本人の道徳観」① 9
- 北信濃 江戸時代の風景 (37) 善光寺(続) 10

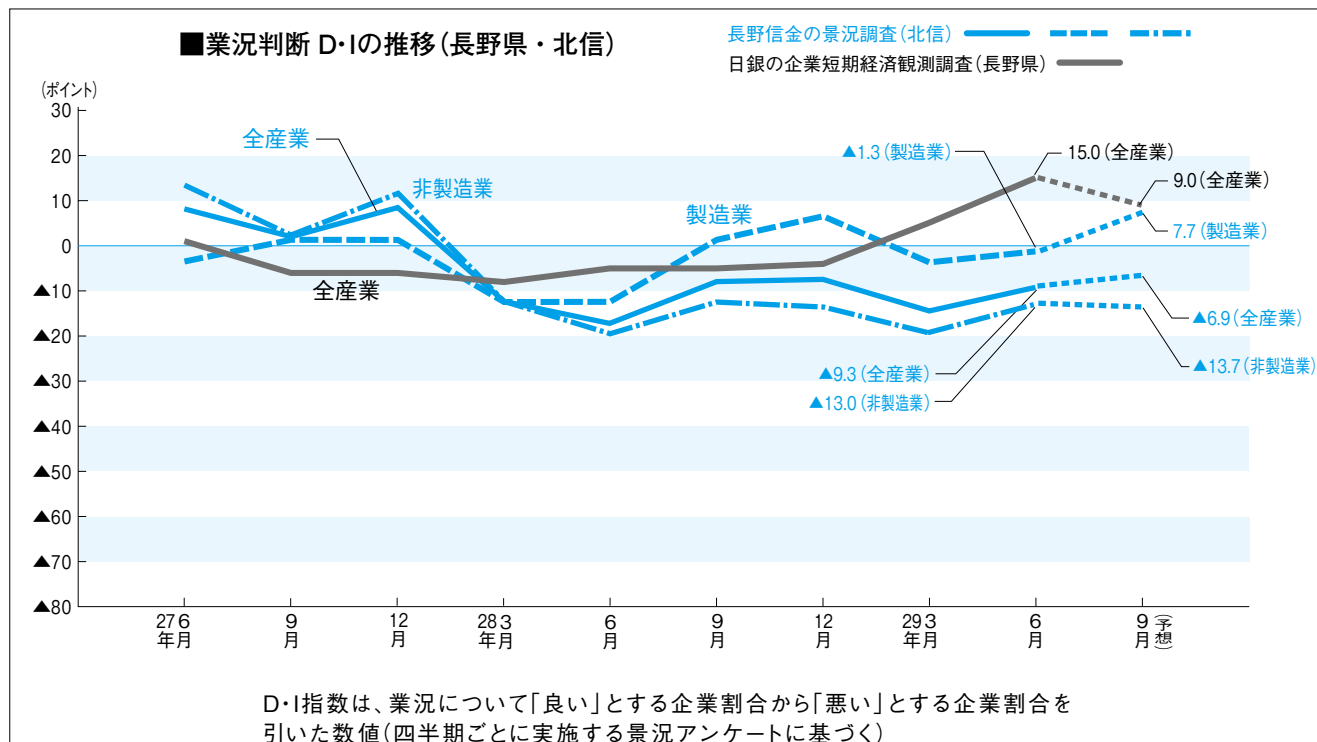
あなたに元気、まちに活気。



長野信用金庫

景況調査レポート 概況 (第168回景況アンケート調査)

◆長野県北信地区◆平成29年4～6月期…景気の現状 ◇29年7～9月期…景気の見通し



全産業▲14 → ▲9 製造業・非製造業ともに改善

平成29年4～6月期の業況判断D・Iは、全産業で5割改善して▲9となりました。製造業は3割改善の▲1、非製造業は6割改善の▲13です。

7～9月期の全産業の業況判断D・I(予想)は、2割改善の▲7となりました。

◆北信地区の4月～6月期の業況判断D・I

	前期	今期	来期(予想)
全産業	▲14	→ ▲9 (5割改善)	→ ▲7
製造業	▲4	→ ▲1 (3割改善)	→ +8
非製造業	▲19	→ ▲13 (6割改善)	→ ▲14

非製造業 ▲19 → ▲13 3業種ともに改善

非製造業の業種別業況判断D・Iは、建設業が▲3(前期比+3割)、卸小売業が▲22(同+4割)、

◆非製造業の業種別業況判断D・I

	前期	今期	来期(予想)
非製造業	▲19	→ ▲13 (6割改善)	→ ▲14
建設業	▲6	→ ▲3 (3割改善)	→ ▲4
卸小売業	▲26	→ ▲22 (4割改善)	→ ▲28
サービス業	▲31	→ ▲18 (13割改善)	→ ▲12

サービス業が▲18(同+13割)となり、3業種ともに改善しています。

◆売上高D・Iと収益判断D・I

	売上高D・I(「増加」-「減少」)	収益判断D・I(「増益」-「減益」)
	前期 今期	前期 今期
全産業	▲23 → ▲3 (改善)	▲24 → ▲9 (改善)
製造業	▲5 → +6 (改善)	▲9 → ▲4 (改善)
非製造業	▲32 → ▲8 (改善)	▲31 → ▲12 (改善)

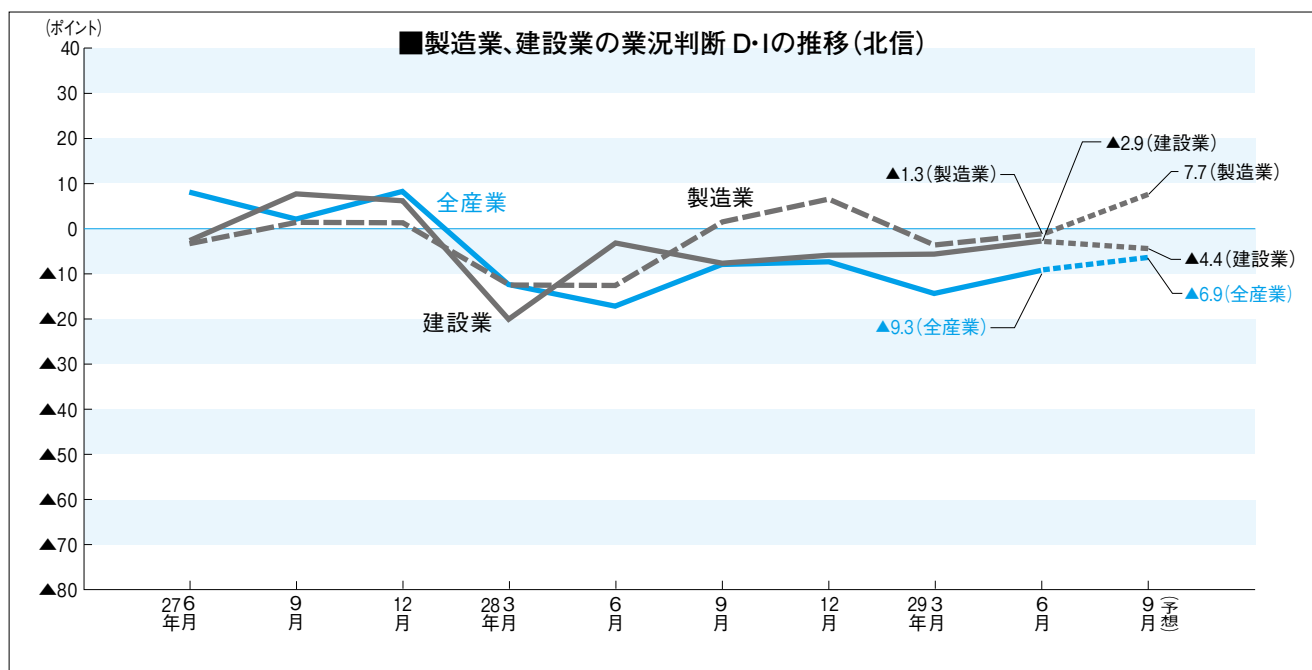
●北信地区の業況判断D・Iの推移

	28年9月	12月	29年3月	6月	9月(予想)
全産業	▲8.0	▲7.4	▲14.4	▲9.3	▲6.9
製造業	+1.4	+6.6	▲3.8	▲1.3	+7.7
非製造業	▲12.3	▲13.7	▲19.3	▲13.0	▲13.7

[調査要領]

●調査実施……平成29年6月
●調査対象企業(回収)
製造業……………80社
建設業……………68社
卸小売業…………51社
サービス業…………52社

合計……………251社
●回収率……………91.1%
●従業員規模
30人未満…………75.7%
●分析……D・I判断指数
を中心に分析



製造業の景況

3割改善して▲1に、来期も改善の予想

製造業の4～6月期の業況判断D・Iは▲1で、前期(▲4)に比べ3割改善となりました。7～9月期は今期より9割改善の+8の予想です。

	(前期)	1～3月期	▲4
◆業況判断D・I	(今期)	4～6月期	▲1
	(来期)	7～9月期	+8 (予想)

◇業種別業況判断

改善	金属加工・一般機械・自動車部品
横ばい	電気機械
悪化	食料品・精密機械

◆収益判断D・I(「増益」-「減益」)…▲4 (5割改善)

「増益」割合	前期 18% → 20% (2割増加)
「減益」割合	前期 27% → 24% (3割減少)

◆現在の採算状況…改善

「利益確保」	前期 41% → 49% (8割増加)
「収支トントン」	前期 44% → 39% (5割減少)
「赤字」	前期 15% → 13% (2割減少)

企業からのコメント

- ★洋食化が進み、当社製品の需要は低下している。
(こんにゃく・ふ製造)
- ☆昨年のテレビ放映効果で好調の商品が、昨年並の売上は困難と思っていたが根付いている。(冷凍麺・そば製造)
- ★☆工作機械業界は回復へ動き出しているが、半導体業界は高原状態が続いている。(工作機械部品)
- ☆補助金事業が今年度も継続するので、受注は確保できそう。(畜産機器)

建設業の景況

3割改善して▲3に、来期は横ばいの予想

建設業の4～6月期の業況判断D・Iは▲3で、前回(▲6)に比べ3割改善しています。7～9月期は今期とほぼ横ばいの▲4の予想です。

	(前期)	1～3月期	▲6
◆業況判断D・I	(今期)	4～6月期	▲3
	(来期)	7～9月期	▲4 (予想)

◇業種別	総合建設	前期 +27 → +27 (横ばい)
	土木工事	前期 ±0 → ▲57 (57割悪化)
	建築	前期 ▲42 → ▲8 (34割改善)
	各種設備	前期 +46 → +40 (6割悪化)

◆収益判断D・I(「増益」-「減益」)…▲8 (13割改善)

「増益」割合	前期 9% → 21% (12割増加)
「減益」割合	前期 29% → 29% (横ばい)

◆現在の採算状況…悪化

「利益確保」	前期53% → 43% (10割減少)
「収支トントン」	前期43% → 52% (9割増加)
「赤字」	前期 4% → 5% (1割増加)

企業からのコメント

- ★受注がなかなか取れないので、公共機関の発注の標準化を進めてほしい。(総合建設)
- ☆工期の遅れからの仕事は業界全体にあるようで、土木工事の業者は多忙とのことです。(土木工事)
- ★東京オリンピック関連工事が本格化するなか、地方の作業員の確保が懸念される。(給排水工事)

雇用情勢 4～6月期

輸送業は大幅に改善する

従業員の過不足感(「過剰」-「不足」)は、全産業で▲28となり、前回(▲31)より3ポイント改善しています。

雇用情勢 (「過剰」-「不足」)

業 種	前期(1～3月)	今期(4～6月)
全産業	▲31.4	▲28.4
製造業	▲23.4	▲27.3
建設業	▲30.4	▲27.2
卸小売業	▲17.3	▲23.6
外食業	▲41.7	▲33.3
サービス業	▲62.5	▲42.9
輸送業	▲100.0	▲63.7
不動産業	▲40.0	▲16.6
観光業	▲55.5	▲30.0

資金繰り 4～6月期

卸小売・観光を除いて改善

資金繰り状況判断(「楽である」-「苦しい」)は、全産業で▲23となり、前回(▲24)より1ポイント改善しています。

資金繰り (「楽である」-「苦しい」)

業 種	前期(1～3月)	今期(4～6月)	来期(7～9月)
全産業	▲24.4	▲22.6	▲22.4
製造業	▲24.4	▲21.2	▲18.2
建設業	▲20.9	▲12.0	▲18.2
卸小売業	▲23.5	▲34.8	▲29.1
外食業	▲30.8	▲25.0	▲41.7
サービス業	▲25.0	±0	±0
輸送業	▲54.6	▲45.5	▲40.0
不動産業	▲20.0	▲16.7	▲8.3
観光業	▲12.5	▲40.0	▲44.5

販売価格動向 4～6月期

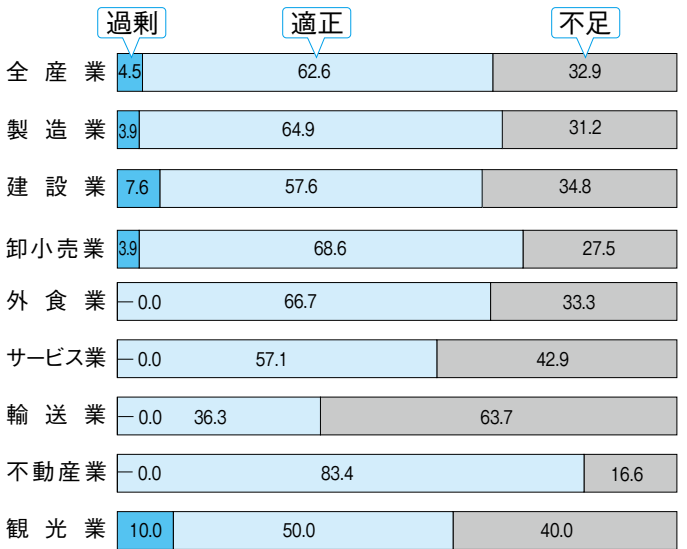
輸送業を除いて不変か上昇に

販売価格動向(「上昇」-「下降」)は、全産業で+1となり、前回(▲2)より3ポイント改善しています。

販売価格動向 (「上昇」-「下降」)

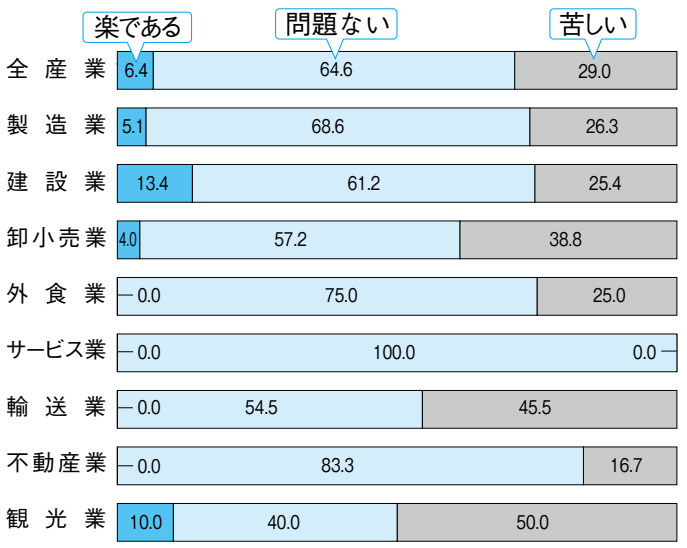
業 種	前期(1～3月)	今期(4～6月)	来期(7～9月)
全産業	▲2.0	+1.3	+2.9
製造業	+1.3	±0	▲2.6
建設業	▲3.1	±0	+5.0
卸小売業	▲5.8	±0	+6.2
外食業	▲7.7	+8.3	±0
サービス業	▲12.5	+28.6	+28.6
輸送業	±0	▲9.1	±0
不動産業	±0	+8.4	+9.1
観光業	+12.5	±0	±0

従業員の過不足感 (%)



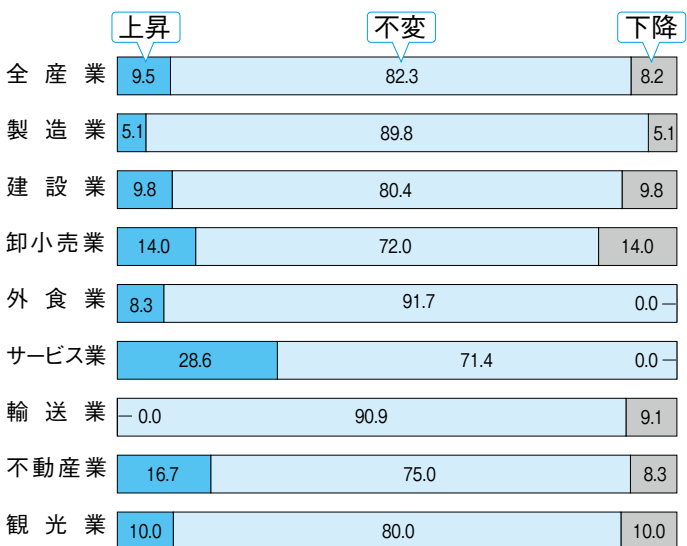
(資料:当金庫)

資金繰り状況感 (%)



(資料:当金庫)

業種別販売価格動向(対前期) (%)



(資料:当金庫)

人材確保の問題点

不足している人材(部門)

1位「応募者が少ない」48%

1位「現場・作業スタッフ」56%

企業アンケート 人材確保 ① 29年6月調査

人材確保の問題点 約半数の企業が「応募者が少ない」を、3分の1強の企業が「求める人材との差が大きい」との回答を寄せています。

不足している人材(部門) 半数強の企業が「現場・作業スタッフ」を、4分の1強の企業が「営業スタッフ」をあげています。

人材確保の問題点

2位「求める人材との差が大きい」36%

3位「採用しても定着率が低い」18%

「人材を確保する上での問題点は何か」を聞きました。

上位には「応募者が少ない」(48%)、「求める人材との差が大きい」(36%)、「採用しても定着率が低い」(18%)とかなり切実な問題が並び、「特になし」

と答えた企業は2割に過ぎませんでした。

従業員規模で比べると、30人以上は「応募者が少ない」(72%)が32%、「求める人材との差が大きい」(41%)と「採用しても定着率が低い」(23%)が各6%、30人未満より高くなっています。他方、30人未満は「特になし」(21%)が8%、30人以上より高く、30人以上の方が問題は切実のようです。

業種別

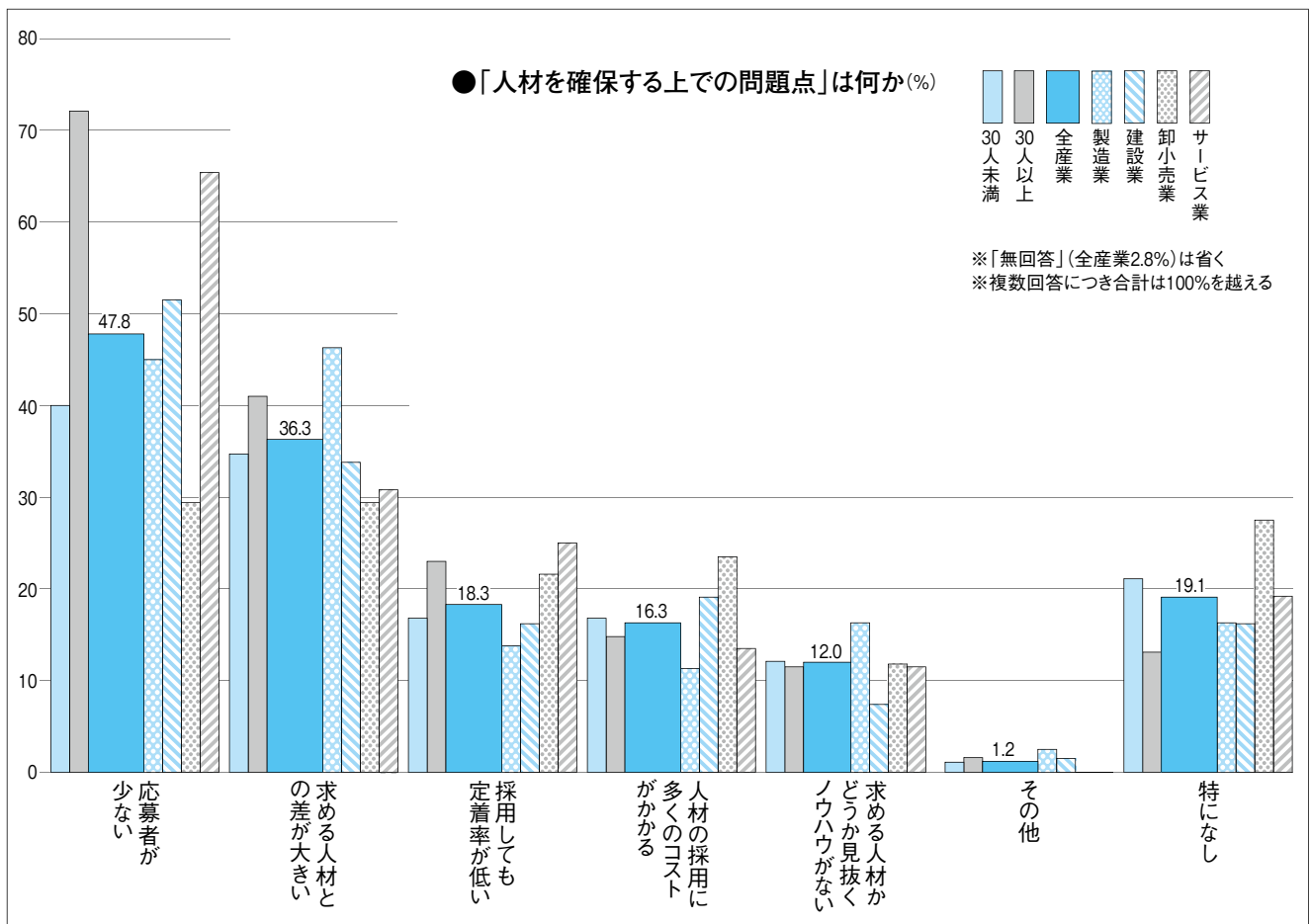
「応募者が少ない」サービス業 65%

「求める人材との差が大きい」製造業 46%

「採用しても定着率が低い」サービス業 25%

◇4業種

製造業 「求める人材との差が大きい」(46%)と「求める人材かどうか見抜くノウハウがない」(16%)



が他業種に比べ最も高くなりました。他方、「採用しても定着率が低い」(14%)、「人材の採用に多くのコストがかかる」(11%)が他業種に比べ最も低くなっています。

建設業 「人材の採用に多くのコストがかかる」(19%)が卸小売業に次いで高く、「求める人材かどうか見抜くノウハウがない」(7%)と「特になし」(16%)が他業種に比べ最も低くなっています。

卸小売業 「人材の採用に多くのコストがかかる」(24%)と「特になし」(28%)が他業種に比べ最も高くなりました。他方、「応募者が少ない」(29%)と「求める人材との差が大きい」(29%)が他業種に比べ最も低くなっています。

サービス業 「応募者が少ない」(65%)と「採用しても定着率が低い」(25%)が他業種に比べ最も高くなりました。他業種に比べ特に低い項目はありません。

門)」を聞きました。

1位は「現場・作業スタッフ」で、56%の企業があげています。次いで全体の約4分の1の企業が「営業スタッフ」と答えています。ほかは1ケタで、「不足している人材はない」は16%でした。

従業員規模で比べると、30人以上の「現場・作業スタッフ」(74%)が30人未満より24ポイント高くなっています。他方、30人未満は「営業スタッフ」(28%)が7ポイント、「不足している人材はない」(19%)が14ポイント、30人以上より高くなっています。

業種別

「現場・作業スタッフ」建設業 74%

「営業スタッフ」卸小売業 43%

「企画・研究スタッフ」製造業 15%

◇4業種

製造業 「企画・研究スタッフ」(15%)、「管理職」(8%)が他業種に比べ最も高くなりました。他方、「不足している人材はない」(11%)が他業種に比べ最も低くなっています。

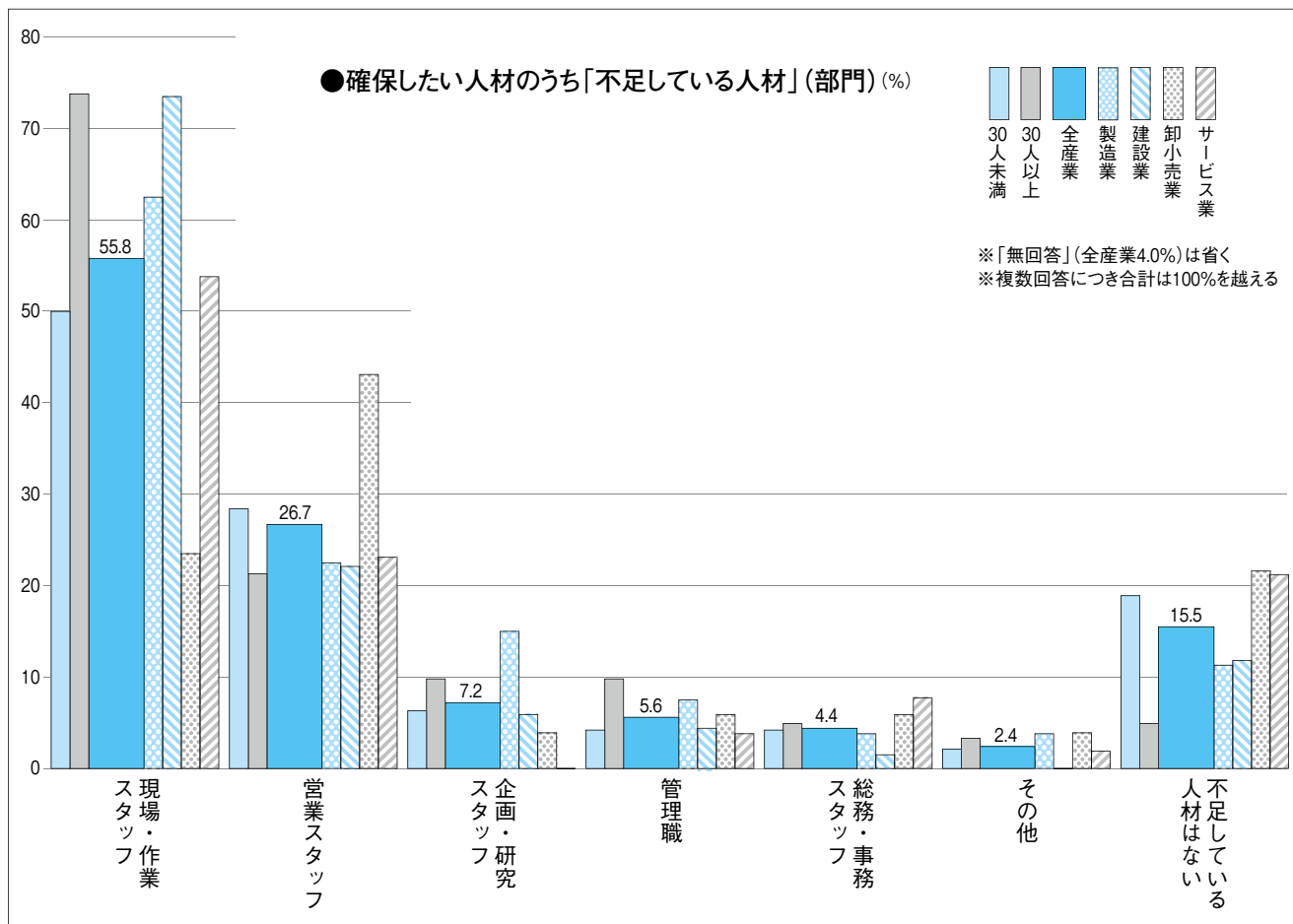
建設業 「現場・作業スタッフ」(74%)が他業種

不足している人材(部門)

2位「営業スタッフ」27%

3位「企画・研究スタッフ」7%

「確保したい人材のうち、不足している人材(部



に比べ最も高くなりました。他方、「営業スタッフ」(22%)と「総務・事務スタッフ」(2%)が他業種に比べ最も低くなっています。

卸小売業 「営業スタッフ」(43%)と「不足している人材はない」(22%)は他業種に比べ最も高くなりました。他方、「現場・作業スタッフ」(24%)が他業種に比べ最も低くなりました。

サービス業 「総務・事務スタッフ」(8%)が他業種に比べ最も高くなりました。他方、「企画・研究スタッフ」(0%)と「管理職」(4%)が他業種に

比べ最も低くなっています。

◇次号は「人材不足を補う取り組み」と
「人材を確保する手段」を予定

[調査要領]

実施期日：2017(平成29)年6月上旬～中旬

実施方法：第168回景況アンケート調査に併記

調査企業：回収251社(製造業80社、建設業68社、
卸小売業51社、サービス業52社)

うち従業員30人未満190社(75.7%)

「人材確保」に関する企業からのコメント

製造業

- ◇なかなか人を見抜くことが難しいので、今後は学卒をターゲットに会社説明会を行えるくらいまでの状況にしていこう。(そば製造)
- ◇求人にかかるコストの割に応募者が少なく、採用に至らないことが多い。(麺製造)
- ◇当社は専門分野が多く社内での育成が困難のため、若い人を採用する方策を講じているが、適当な人に出会えない。(ダンボール用印版・木型製造)
- ◇人材が求めるスキルに達していないので、教育訓練の必要性が増し、正社員の負担が増大している。(シール・ラベル製造)
- ◇従業員が高齢化のため定年後の延長も限界で、若年層の採用は必須であるが、教育・育成期間が取れない。
- ◇人材確保に時間と費用がかかっているため、業務の効率化を進めたい。(以上精密機械)
- ◇仕事に慣れているので、定年後の再雇用を延長(65歳以上)しているが、いつまで雇用するか判断が難しい。(プラスチック製品金型製造)
- ◇生産変動があるため正社員を増やすことは困難。非正規社員は集まりにくく、応募者は高齢化している。(電子部品組立加工)
- ◇人材を確保したいが、仕事量・売上が安定しないため、採用に踏み切れない。(雑貨製造)

建設業

- ◇ハローワークに求人を出しても応募がない。応募があっても面接に来ない。採用しても1か月以内に辞めてしまう。押し並べて雇用保険をもらうための活動としか思えない。
- ◇最近の傾向として、学校巡りをしても、学校側は地方の中小企業に目を向けてくれない。リクルートにも多額の費用をかけているが、建設業に携わろうとする人が少ない気がする。
- ◇中途採用を何度か実施しているが、定着率は低い。新卒者は育成に少し時間はかかるが、定着率が高いので重点を置いている。(以上総合建設)
- ◇「給料は少なくてもいいから、苦労はなるべくしたく

ない」こんな若者だらけでは、我々の業界は誰もいなくなってしまう。

- ◇土木関連に若者は興味がない。(以上土木工事)
- ◇建築業界に入ってくる若者が少なく、入ってもすぐに辞めてしまう。世間一般に技術者の評価が低すぎると思う。(建築)

卸小売業

- ◇営業ができる人材を育てる。(青果物卸売)
- ◇求人を出しても、若い人の応募が少なく、なかなか定着しない。(タイヤ・自転車卸売)
- ◇求める人材のスキルが不足していて、即戦力にならない。(建材卸売)
- ◇一般常識もなく、まともに運転すらできない人の応募が多く、人材確保につながらない。向上心のない若者の多さに驚く。(業務用食品・酒類小売)

サービス業

- ◇資格技術を必要とするが、技術者不足のために、資格がない人を募集して育成しようとするが、応募者が来ない。(建設コンサルタント・測量)
- ◇2種免許が高いハードルとなっている。給与・待遇面で他業種と格差がありすぎる。
- ◇ハローワークの紹介が少なくなった。運転者登録制度によって長期間の研修があり、入りづらくなっているのではないかと。(以上タクシー)
- ◇タクシーは「給与が安い」という先入観を持たれている。バスは、軽井沢のバス事故以降「仕事が過酷」という先入観と「事故時のリスクが高い」イメージが植えつけられたと思う。(バス・タクシー)
- ◇当社は新卒者を採用・育成しているが、大型車免許などを取得し、やっと戦力になったところ他社に移るケースが少なからずあり、非常に悩ましい。
- ◇社員の定着率を上げることを最優先に考え、待遇の見直しなどを実施中。(以上運送)
- ◇土日・祝日は忙しいが、そのときはみんな出たがらない。
- ◇求人は、正社員・パートアルバイトともに確保が難しい。パートアルバイトを減らして正社員にしたいが、希望者が来ない。(以上日本そば店)

特に失われたと感じるもの

「思いやりの精神」42% 「忍耐強さ」40%

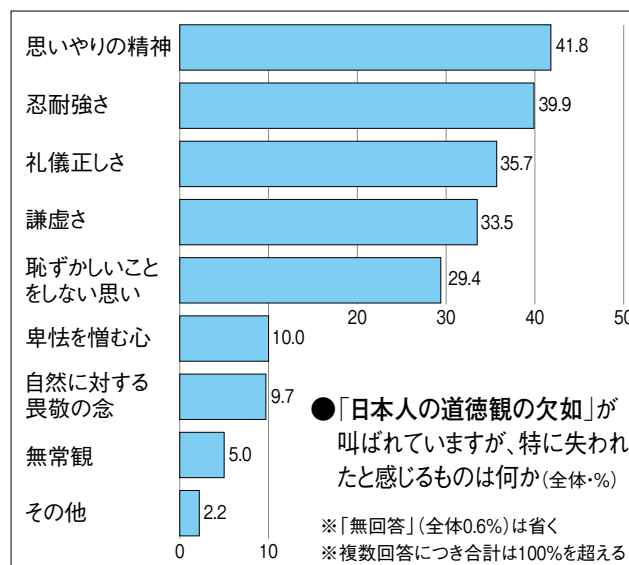
生活者アンケート
日本人の道德観
29年6月調査

『日本人の道德観の欠如』が叫ばれていますが、特に失われたと感じるものは何かを聞きました。

上位には「思いやりの精神」(42%)、「忍耐強さ」(40%)をはじめとして、「礼儀正しさ」(36%)、「謙虚さ」(34%)、「恥ずかしいことをしない思い」(29%)が並びました。ほかに「卑怯を憎む心」「自然に対する畏敬の念」「無常観」があげられています。

男女別でトップ3を見ると、男性は「思いやりの精神」「忍耐強さ」「礼儀正しさ」、女性は「謙虚さ」「忍耐強さ」「思いやりの精神」となっています。

世代別でトップ3を見ると、10～20代は「忍耐強さ」「思いやりの精神」「礼儀正しさ」、30～40代は「思いやりの精神」「礼儀正しさ」=同率=「忍耐強さ」、50代以上は「思いやりの精神」=同率=「忍耐強さ」「謙虚さ」となっています。



【調査要領】

実施期日：2017(平成29)年6月上旬～中旬
実施場所：長野信用金庫本支店窓口
対象者：来店客361人(男性232人・女性129人)
調査方法：アンケート用紙に記述(無記名)

「社会道德と公共マナー」に関する生活者からのコメント

- ◇電車内で電話している人を見かけるが、さまざまな世代に公共マナーを守れない人があるように思う。
- ◇サッカー・野球などの試合開催時に、近隣の商業施設の駐車場に無断駐車が多い。(以上20代女性)
- ◇非常識すぎるクレマーへの罰則を強化してほしい。(30代男性)
- ◇子どもの頃からの教育と経験が大切だと思う。問題がある人は、ボランティアに参加させるなど、意識を正せるような経験をさせてはどうかと思う。
- ◇店舗などの駐車場を、道路渋滞時に近道として通行するマナー違反の車が増加している。
- ◇しつけの根本は家庭だと思うが、しつける側の意識が低下している。(以上40代女性)
- ◇いま日本人に足りないのは、思いやり、気配りで、自分勝手な人が増加している。結果、マナー違反を平気でやる気持ちの人が増えていると思われる。
- ◇もっと宗教観を持たないと、日本人はだめになる。(以上40代男性)
- ◇今の日本は競争社会の真っ只中。真面目でお人好しな人はどんどん減っていると思う。
- ◇誰も見ていないとき、一人でいるときの振る舞いこそ、その人の品性。監視されていないと、ほめてくれる人がいないとできない、そんな幼児性から脱却できない大人が増えている。
- ◇人前で店員をどなり散らすなど、信じられないよ

- うな、大人気ない人が増えてきた。(以上50代女性)
- ◇クリック一つで本や音楽なんでも買える時代の子どもに、社会の仕組みや道德を教えるのは難しい。
- ◇“自分さえよければ”の考え方が横行。他者の痛みを感じることができない人が多いすぎる。
- ◇因果応報など、仏教的な考え方が大切だと思っている。(以上50代男性)
- ◇今の時代、私欲がなく、清廉潔白な人が減ってきた。すべて金銭が優先している気がしてならない。
- ◇昔の日本人は、金儲(もう)け主義は恥と思っていたが、今は変化している。(以上60代以上女性)
- ◇昭和の時代は、タバコの投げ捨て、ごみのポイ捨てが多かった気がする。公共マナーは向上したと思うが、社会道德という精神面はレベル低下の感がある。
- ◇権利や自己主張が強くなり、道德・マナーが低下したと考える。義務を果たさないで権利ばかり口にする大人が増えてきた。
- ◇日本人が代々教わってきた「お天道様が見ている」「ご先祖様に恥ずかしいことをするな」というしつけの言葉を最近聞かなくなった。
- ◇昭和の時代、子どものしつけは、両親・祖父母、近所の大人などがしっかりしていた。平成となって、子どもは誰もしつけなくなってしまった。それ以上にわがままな大人が増えた。(以上60代以上男性)

北信濃 江戸時代の風景

(37) 善光寺(続)

長野郷土史研究会会長

小林 一郎



絵を読む—善光寺の境内

前回に引き続き、長谷川雪旦が描いた善光寺です。中央の右下に仁王門があり、上部に「二王門」の文字があります。右に行くとも現在の仲見世があり、その中央左(西側)に小さな堂があって、「チソウ」(地藏)と書いてあります。堂跡地藏尊と呼ばれる銅造の地藏で、現在は堂は無く露座のままになっています。その前と東側には一対の石灯籠が描かれています。

仲見世が終わると、左側に「本坊」と書かれた建物群があります。ここが大勧進で、門も描かれています。門の前の空間が池(放生池)ですが、橋までは描いてありません。

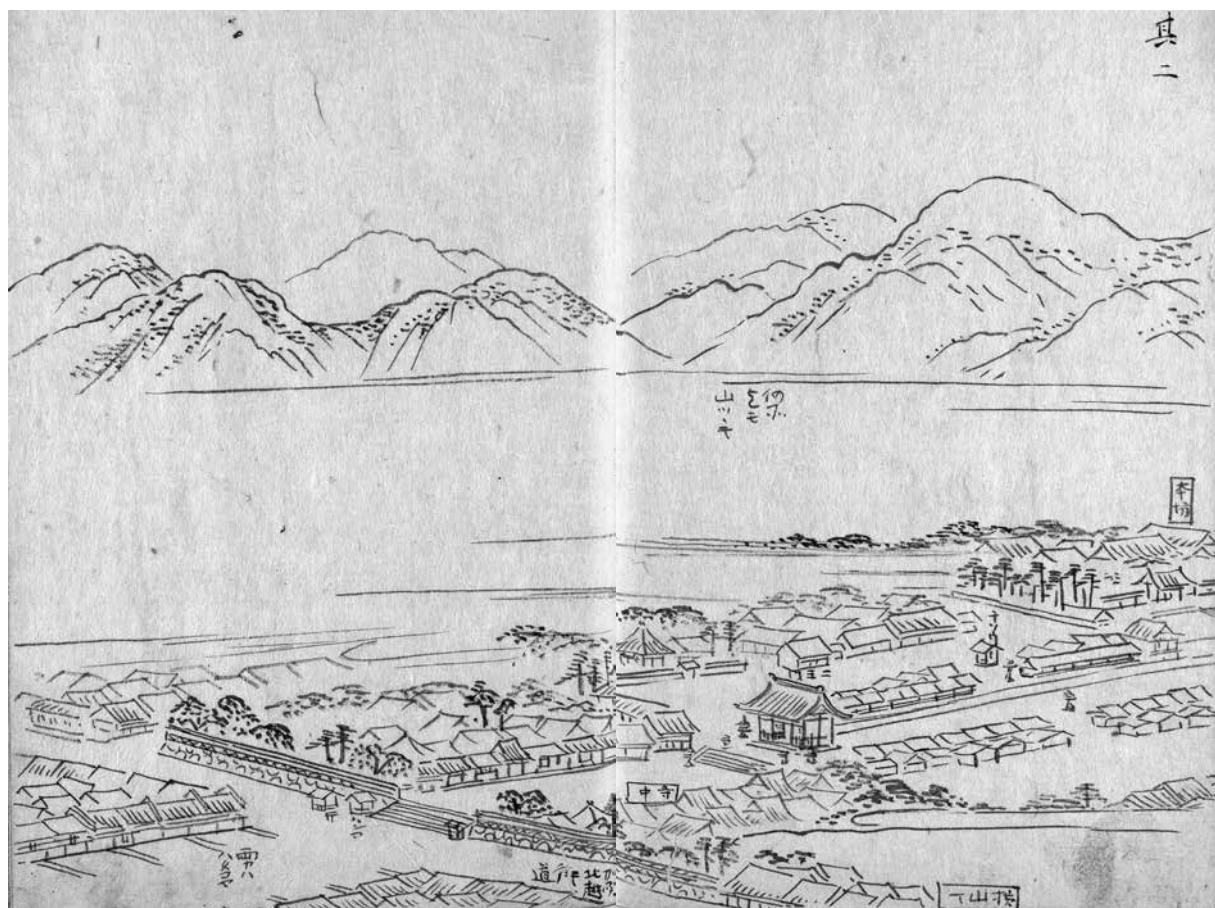
仁王門の石段を下ると、西側の一角が大本願で、東側の宿坊群には「寺中」の文字が書かれています。寺中は塔頭と同じで、寺内の寺という意味です。

このあたりの宿坊は浄土宗で大本願に属していますが、江戸時代には幕府の命令で天台宗の大勧進に付属させられていました。明治10年に浄土宗に復帰して現在に至っています。

背後の山並の下には、「何所迄モ山ツ、キ」(どこまでも山続き)と書かれています。

絵を読む—善光寺の門前

善光寺の境内と門前との境に石段があります。このあたりには昔二天門という門があったと言われていたことから、現在の善光寺交差点付近を二天前と呼んできました。絵では西側に2つの小屋があり、その1つには「ハンヤ」(番屋)と書いてあります。これは番所とも言い、宿坊の案内所です。善光寺の宿坊は、どこかの国の何郡から来た旅人であるかによって、泊まる宿坊が決まっていた。そのため宿坊に泊まる旅人はこの案内所に立ち寄



善光寺(其二)の図(『北国一覽』より)

って、どの宿坊に行けばよいか尋ねる必要があったのです。

二天前の石段の東側にも小さな小屋のようなものが描かれています。これはいわゆるお触れなどの類を掲示する高札場です。その跡には長野市の道路元標が置かれました。現在も唐辛子の袋に「御高札前」と書いてあるのは、高札場の前に露店を出して商売をしていたからです。

その右の路上には「加賀北越街道」と書いてあります。これは加賀(石川県)や北越(新潟県)に向かう北国街道です。丹波島の渡し(現在の丹波島橋付近)で犀川を渡った北国街道は、真っ直に北に向かい、現在の中央通りを通して善光寺に突き当たります。突き当たった北国街道は右に折れているので、そのことが書かれています。さらに右に目を移すと、「横山へ」と書いてあります。北国街道はこの先で岩石町・新町等を経て三輪村の横山地区を通るからです。

「加賀北越街道」の文字の書かれている辺りを現在は横町と呼んでいますが、江戸時代は東横町でした。善光寺に突き当たって西に折れた辺りは、昔は西横町と呼ばれていました。西横町は現在は大門町に吸収されてその一部となっていますが、東横町は横町と名を変えて現在に至っています。

善光寺門前的大门町には、「両カハハタコヤ」(両側旅籠屋)と書かれています。ここが善光寺宿で、両側に旅籠屋が建ち並んでいたからです。

堂跡地蔵尊の変遷

堂跡と呼ばれるのは、宝永4年(1707)に現在の本堂ができるまでは、善光寺の本堂がここにあったからです。中でも本尊がおられた瑠璃壇の跡は、神聖な場所として地蔵尊をまつっているのです。



高札場跡の長野市道路元標

正徳2年(1712)に江戸神田の専念と覚念によって寄進されました。ここに描かれているのは、この初代の地蔵尊です。

初代の地蔵尊は弘化4年(1847)の善光寺地震で焼けてしまい、その後再建されました。しかしこれも明治24年(1891)の大火で焼損し、大正4年(1915)に再建されています。それも戦争の激化により昭和18年(1943)に供出され、戦後の昭和24年(1949)年に再興されました。これが現在の堂跡地蔵尊で、4代目の地蔵尊ということになります。

仁王門の変遷

同様に、仁王門も何度も建て替えられました。ここに描かれた初代の仁王門は、山門(1750)に引き続き宝暦2年(1752)に建立されました。しかし弘化4年(1847)の善光寺地震で焼失し、元治元年(1864)に再建されました。これも明治24年に焼失し、東筑摩郡山形村の永田兵太郎の寄進により再建されて、大正7年(1918)の御開帳に合わせて落慶法要が行われました。これが現在の仁王門です。高村光雲と米原雲海による仁王像はこの落慶に間に合わず、翌大正8年になって安置されました。現在の仁王門は3代目なのです。

8月号は「善光寺の朝参り」の予定です。

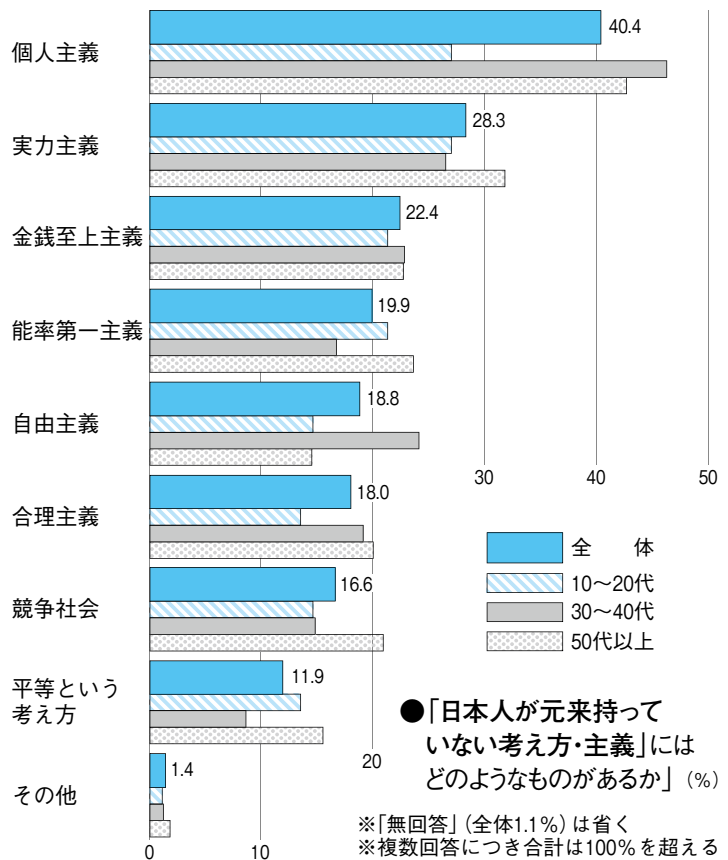
◆日本人が元来持っていない考え方・主義
「個人主義」40% 「実力主義」28%

「『日本人が元来持っていない考え方・主義』にはどのようなものがあるか」を聞きました。

最も高くなったのは「個人主義」(40%)で、「実力主義」(28%)も他より頭一つ抜け出しています。20%前後に「金銭至上主義」「能率第一主義」「自由主義」「合理主義」「競争社会」と続き、「平等という考え方」が2ケタ(12%)になりました。

男女別・世代別ともに、1位は「個人主義」、2位は「実力主義」となりました。3位は男性と10～20代が「金銭至上主義」(「能率第一主義」も同率)、30～40代と女性が「自由主義」(「能率第一主義」も同率)、50代以上は「能率第一主義」です。

〈当金庫・29年6月調査〉



●みなさまの経営相談のご案内 [8月]

(注)上の店名は開催場所、下の()内店名はその相談日に含まれる対象店です。

開催日	午前	午後	開催日	午前	午後
8月 3日 木	若槻支店 (城北支店)	東長野支店 (柳原支店)	8月 18日 金	石堂支店 (伊勢宮支店)	七瀬支店 (南支店)
4日 金	稲荷山支店 (屋代支店・埴生支店)	上山田支店 (戸倉支店・坂城支店)	21日 月	篠ノ井支店 (川柳支店)	松代支店 (更北支店)
7日 月	中野支店 (小布施支店)	山ノ内支店 (飯山支店)	23日 水	大門町支店 (桜枝町支店)	飯綱支店
8日 火	長池支店 (大豆島支店)		24日 木	本店営業部	古里支店 (吉田支店)
9日 水	権堂支店 (善光寺下支店)	川中島支店 (川中島駅前支店)	28日 月	本部	
17日 木	須坂支店 (墨坂支店・太子町支店)	豊野支店	30日 水	本部	

●8月の「しんきん事業相談会」は8月2日(水)です

長野信用金庫 総合企画部

本店 〒380-8686 長野市居町 133-1 TEL 026-228-0221(代)

長野信用金庫 URL <http://www.nagano-shinkin.jp/>

●「すかい」は長野信用金庫のホームページでもご覧いただけます●

